

1. Concept



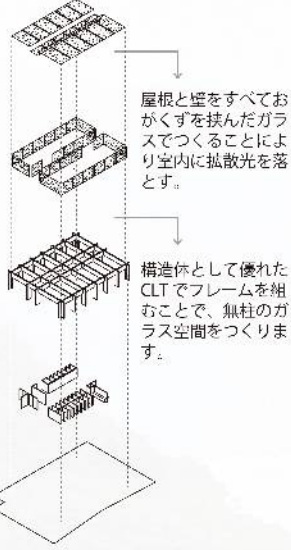
西栗倉村は百年の森林に囲われた、自然と交流の村です。また西栗倉村はバイオマスなどの再生可能エネルギーを産した、エネルギー自足率 100% の低炭素社会を目指しています。



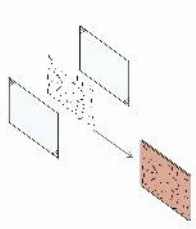
一般的に、トイレは落暗く不清潔なイメージがあり、視線などの問題から閉じられた箱になってしまっている場合がほとんどです。

CLT とその生産過程で発生するおがくずを使い、全体が明るく均質な光で満たされるトイレを提案します。

2. Diagram



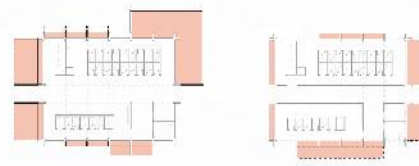
3. Ogakuzu



CLT 集成材の製造過程で発生するおがくずをガラスではさみトイレの外壁にしました。おがくずをトイレの外壁にして使用することでトイレ外部からの視線は遮り、トイレ内にはおがくずによって拡散された光が届きます。本来閉じきった落暗い場所になってしまうトイレはおがくずをガラスではさんだ外壁をつかうことによってトイレ内のプライバシー性は保ったまま、太陽光に照らされた清潔感のあるトイレとなっています。



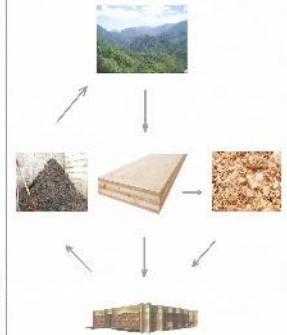
4. Rest Space



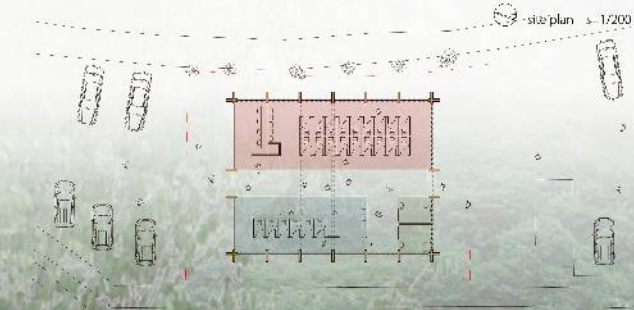
トイレの周辺では CLT 集成材の施工性を生かし、門型フレームを起点にしトイレの周辺に用途にあわせた様々な人の居場所をつくり出す。平常時には椅子や机、デッキなどの道の駅に訪れた人への休憩スペースとして使用でき、また災害時などには臨時の集会所として使用することができます。



5. Cycle



この計画ではバイオマストイレを採用しています。西栗倉村の森林から取れた木材で CLT 集成材をつくり、その過程で発生したおがくずはトイレの外壁と屋根とバイオマストイレに使用し、バイオマストイレによってできた堆肥はまた森林に戻すというサイクルです。



CLT × Ogakuzu